

第3回東日本大震災に関する活動助成 活動報告書

団体名	特定非営利活動法人京都災害ボランティアネット
活動テーマ	福島県内孤立コミュニティにおけるサロン活動とニーズ調査



福島県内仮設住宅、借り上げ住宅では住民やコミュニティの孤立状況が多くみられます。本活動では本団体がコーディネーターになって、福島大学災害ボランティアセンターといわき明星大学の学生、京都の学生が連携した仮設住宅住民への支援活動を行いました。また、富岡町を抽出し、他地域へ避難している住民へのアンケートを実施し、その分析結果を行政等関係機関に提出しました。

○第1回（7月28日～8月1日）

いわき市、福島市、天栄村、南相馬市、喜多方市でサロン活動とニーズ調査

○先遣調査（8月31日～9月4日）

南相馬市全域の仮設住宅調査、市役所、関係機関への聴き取り

○第2回（9月16日～18日）

いわき市、三春町、埴町でレクリエーションとニーズ調査、関係機関への聴き取り

○第3回（10月7日～9日）

いわき市にてニーズ調査や打ち合わせ、川内村内視察、川内村で村長、社会福祉協議会支援員と協議

仮設住宅や借り上げ住宅の住民たちは長引く避難生活で心身ともに疲労していますが、学生を中心としたサロン活動やレクリエーションでリラクゼーションを図ることができました。サロン活動後の笑顔には私たちスタッフが励まされました。京都から来ているということを知っていただくことは、自分たちへの支援が広範囲のネットワークで行われているという安堵感につながりました。また学生も交流を通じて支援スキルの強化を図ることができました。